

## 公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEGON Kids天満月組		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○訪問先施設評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問職員が3人在籍している。</li> <li>・集団生活の中で困り事が気付かれにくく、支援の手が届き難い児童に対しても訪問支援を行っている事。一見、適応出来ているが、本人は苦勞している。というサインを見逃さないようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人いる事で、多面的に児童の様子を捉えることが出来る。</li> <li>・情報共有は欠かせない事。</li> <li>・園や学校でサポートが見過ごされがちな状況を未然に防ぐ為、小さな違和感に対しても積極的に訪問を提案し、二次障害の防止と自信の回復をサポートしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問職員以外の職員とも、もっと意見交換を行う。訪問職員で完結しないようにする。</li> <li>・訪問で得た情報や決まった取り組みを他児洋書にも共有出来ると尚良いか。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門性を活かして分担して訪問支援を行えている点。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人いる事で、多面的に児童の様子を捉えることが出来る。</li> <li>・PTや各職員の経験等を考慮して情報共有を行いながら職員配置を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校などの関わりを継続していくことで、より深いニーズに対してもアプローチしていけると考える。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援と言うよりは情報共有がメインとなっている。</li> <li>・どこまで介入、支援してよいか探り探りの面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先の職員との関係性が薄く、遠慮している部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問を継続し、関係性を深めていく必要がある。</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側の意向もあり、直接支援が難しい場面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な関係を継続する事で密な情報共有や支援の場を作っていけると考える。</li> </ul>
3			